

こうれい 高齢 ・ しょうがいれんけい がい 障害連携部会とは

そうだんしえんぶかい なか ちいき
相談支援部会の中で、地域で
く しょうがいとうじしゃ こうれいか
暮らす障害当事者の高齢化に
ぎだい あ
ついて議題が上がった

ねんれい かさ く つづ ちいき
年齢を重ねても暮らし続けられる地域をつくろう！



ちいき く
地域で暮らす
しょうがいとうじしゃ こうれいか
障害当事者の高齢化を
支える仕組み

かだい あ
こんな課題が上がり
れいわがんねんど ぶかい
令和元年度に部会がスタートしました

おや こ りょうほう
親と子、両方の
しえんしゃ れんけい
支援者の連携

しょうがいとうじしゃ
障害当事者が
かいごほけん いこう さい かだい
介護保険へ移行する際の課題

しょうがいとうじしゃ かいご
障害当事者を介護する
おや こうれいか もんだい
親の高齢化（8050問題）



がかい 部会ではどんなことをしているの？

しょうがいふくし かいごほけん
障害福祉と介護保険
たが せいど し
お互いの制度を知ろう

かち かん ちが
価値観の違い
のこ さい さい
残された命に向き合うか
しょうらい ゆめ むき あ
将来の夢に向き合うのか

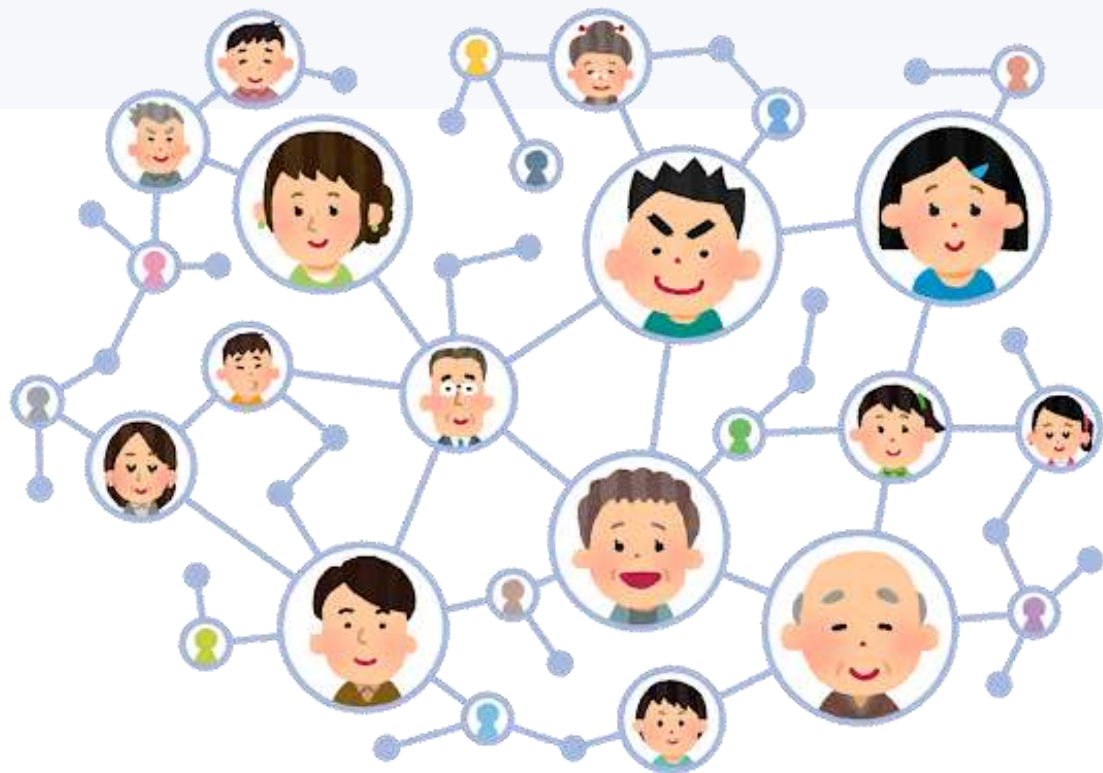
か だい かい しょう
課題を解消するために…



し えん たい せい ちが し
支援体制の違いを知ること
とうじしゃ ふり え き
当事者の不利益にならないように

さい
65歳になっても
はたら つづ たい ほん にん おも
働きたい本人の思いを
わかってもらう

ひと さん か どんな人が参加しているの？



しょうがいふくし
障害福祉サービス
じぎょうしょ
事業所

ち い き ほう かつ し えん
地域包括支援センター
(ケア 24)

ふくし じ む し ょ
福祉事務所

しょうがいしゃ ち い き ぞう だん し えん
障害者地域相談支援
センター (すまいる)

しょうがい とう じ しゃ
障害当事者

とく てい ぞう だん し えん じぎょう しょ
特定相談支援事業所
しょうがい とう じ しゃ ぞう だん いん
(障害当事者の相談員)

きょ た く かい ご し えん じぎょう しょ
居宅介護支援事業所
(ケアマネージャー)

ほ けん
保健センター

かい ご ほ けん
介護保険サービス
じぎょう しょ
事業所

などなど…



高齢・障害連携部会

部会員からのメッセージ（その1）



あつち 厚地さん（すまいる）

もりやす 森安さん
（ケアマネージャー）



地域包括ケアって、机上の空論ではなく、こういう活動の積み重ねで現実味を帯びてくるものなのだろうなと感じています。障害者も高齢者もみな同じ杉並区民です。相互分野の情報共有や意見交換の場があることで関係性が良くなっていく。地道に続けていくことの重要性を感じています。



きくち 菊池さん（障害福祉サービス事業所）

サービス各種の制度とそれを担当する部門があるのはわかりました。しかし当事者に必要なのは最善の策とそれを示してくれる信頼できる人です。当事者の今を継続的に見ている人です。策が立てば自力で歩いていけると思います。



たむら 田村さん（当事者委員）

参加させていただいての気づいたことですが、杉並区の高齢者への支援体制が充実しているかは他区をみていないのでわかりませんが、高齢・障害福祉に対していろいろやろうとしている熱意みたいなものは感じました。あと、もっと堅苦しいイメージかと思っていましたがそれも違うかなと。楽しく参加し勉強させていただいております。



わかやま 若山さん（ケア24善福寺）

障害サービスは65歳を迎えると、原則、介護保険に切り替わることになります。私たちは、利用者が安心して生活を継続できるように、信頼関係を築いていくこと。また、障害サービスと介護保険サービスの違いをよく理解し、支援者同士が連携することが大切だと、再確認したところです。



高齢・障害連携部会

部会員からのメッセージ（その2）



あいた
相田さん
(ケアマネジャー)

障がいがあっても、高齢になっても、認知症になっても。「自分らしさ」とは大切にしていることでつくれ、何気ない毎日の積み重ねが人生であるとしたら「連携=つながり」とは「尊厳を守る」ことにつながる大切な絆です。地域課題を他人事ではなく、「我が事」として捉え、途切れることのない支援として「丸ごと」受け止め支えようという思いで立ちあがったこの部会。私はこの部会で、地域愛と自身の仕事への誇り、そしてかけがえのない仲間を得ています。

65歳から適用される福祉制度は変わりますが、利用する方は何も変わりません。目の前の方々が何を欲しているかお尋ねし、専門家から何が必要となるかお示しして、課題を解決できるようご相談してくことが大切だと考えています。「幸せだなあ」と思って暮らせるよう、お役に立てる存在を目指したいです。



せきた
関田さん
(介護保険サービス事業所)

これまで、障害福祉サービスと介護保険サービスのつなぎ目は若干粗かったように感じています。杉並区独自のサービスやインフォーマルなサービスを含め、オンタイムな情報を持つことが私たち支援者にとって、非常に大切な事だと感じています。



たかはし
高橋さん (特定相談支援事業所)



えのまえ
江前さん
(ケアマネジャー)

障害者サービスから介護保険サービスへ、スムーズに移行できますように、課題整理に取り組んでいます。障害者サービスの相談支援専門員さんから介護保険サービスのケアマネジャーとして、しっかりバトンを受け取ります。各々のサービス名は違っても、「ここ杉並でいっしょに安心して暮らしていきましょう！」という気持ちは全く変わらないです(^ ^)

